



全国高校生体験活動顕彰制度

# 地域探究プログラム

今よりももっと  
自分に自信  
をもつことができる



これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代であっても、自ら課題を見付け、自ら考え、判断して行動し、それぞれが思い描く幸せを実現してほしい。

正解のない「問い」を自ら発見し、設定することで、自分なりの「正解」を導き出してほしい。

そんな、願いと思いを形にすべく「地域探究プログラム」は、宿泊を伴うオリエンテーション合宿を通して、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力を身に付け、地域での実践活動においては、多様な人々と協働しながら地域や社会にある課題解決に向けた取組を行うことで、郷土や自然に愛着を持ち、新たな価値を創造する高校生の育成を目指しております。



高校生の皆さんへ

## 「ちいぷろ!」の魅力

GOOD!



### 自分のポートフォリオを手に入れよう!

「ちいぷろ!」では、実践活動で取り組んだ内容を「実践活動報告書」にまとめます。この実践活動報告書では、実践活動の中でうまくいったこともうまくいかなかったことも書くため、自身の取り組んだ活動を証明する大切なポートフォリオとなります。どうやって壁を乗り越えてきたのかを自分の言葉で書いてみましょう。これからの進路選択における大きな武器となることはもちろん、大学や専門学校などでの総合型選抜や就職の面接等に活用することもできます。



### 自分の将来を考える出会いがある!

「ちいぷろ!」では、全国で様々な実践活動に取り組んでいる仲間同士の交流を大切にしています。地方ステージや全国ステージなどでの交流を通して自身の取り組みについて共有することで新たなアイデアが生まれるかもしれません。また「ちいぷろ!」では、たくさんの地域で活躍する“大人”と出会います。そんな出会いこそが、あなたの将来なりたい姿を明確にしてくれるかもしれません。



### 面接などで役に立つ コミュニケーション能力が身につく!

「ちいぷろ!」では、大勢の前であなたの想いを発表する場所があります。発表前の情報を整理する作業で、伝えたいことをわかりやすく表現する力が鍛えられます。また、あなたの発表を聞く教育関係者との意見交換で、相手の意見に耳を傾け、その言葉の意図や真意を正しく汲み取る力を身に付けることができます。この2つの力は、面接試験等のあなたをアピールする場面できっと役に立つはずです。



# 「ちいぷろ!」とは?

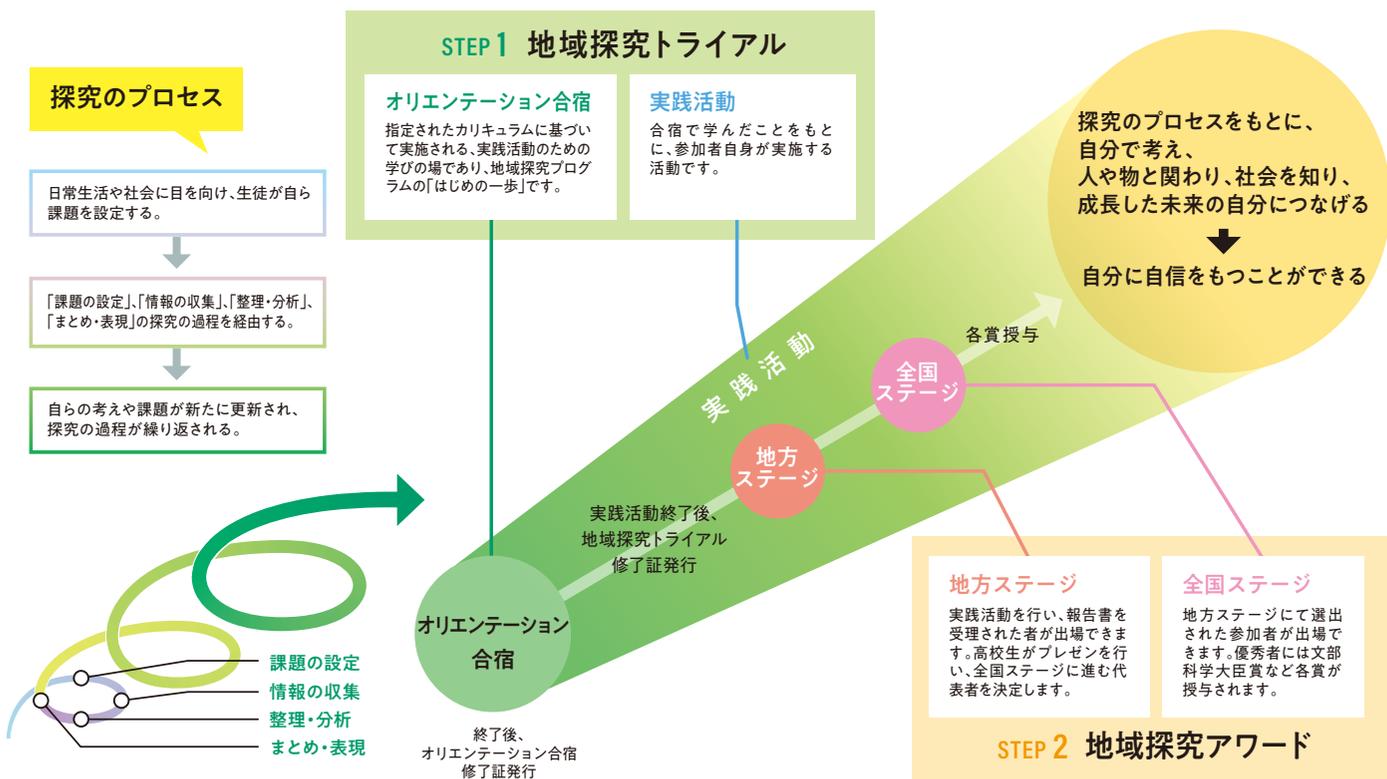
「ちいぷろ!」は、学習指導要領の「総合的な探究の時間」の考え方を生かして、高校生の体験活動を通じた成長を目指し、学習を深める制度です。

取り組みを段階的に分けており、STEP1の「地域探究トライアル」とSTEP2の「地域探究アワード」から構成されています。

「地域探究トライアル」では、『探究』の学びと実践を、そして「地域探究アワード」では、高校生の学びの発表と顕彰及び高校生同士の交流を行い、学びを深めます。

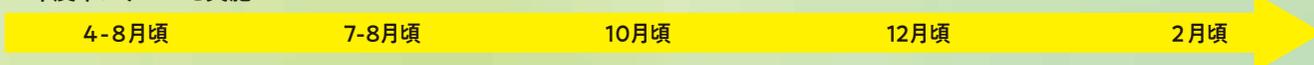
## 「ちいぷろ!」の構成

探究のプロセスをもとに、自分で考え、人や物と関わり、社会を知り、成長した未来の自分につなげる

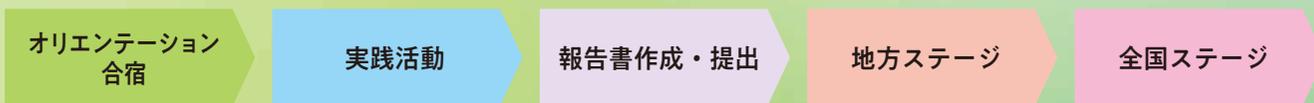


## スケジュール

1年度中にすべてを実施



2年度をかけて実施



※オリエンテーション合宿・地方ステージの日程は、会場によって異なります。詳細を確認する場合は、裏表紙にあります国立青少年教育施設にお問い合わせください。  
※同年度の地方ステージ参加を希望しない、または翌年度以降の地方ステージに参加を希望することも可能です

## 過去の「ちいぷろ!」

実際に「ちいぷろ!」に参加した人の声や、過去の実践活動報告書をご覧ください。

実際の活動がイメージできる!

参加者の声



過去の  
実践活動報告書



過去の  
全国ステージ



# 「ちいぷろ!」の主なプログラム

## 1 オリエンテーション合宿

全国の国立青少年教育施設にて、体験活動を通じて「探究のプロセス」を学び、深めることができる「オリエンテーション合宿」を開催しています。学校や団体と連携しながら実施する「学校・団体参加型」と全国の高校生を対象に実施する「個別参加型」の2種類あります。各国立青少年教育施設の詳細については裏表紙やホームページをご確認ください。



皆で楽しんで、やり切る!



## 2 実践活動・実践活動報告書

オリエンテーション合宿修了後は、自身で地域課題を設定し、課題解決や価値創造に向けた取り組みを行う『実践活動』を行います。その後、自身の取り組んだ活動の報告を『実践活動報告書』にまとめましょう。

地元の魅力を再発見!



自ら考え行動!



## 3 地方ステージ・全国ステージ

実践活動報告書の提出後は、地方ステージへエントリーし、取り組んだ活動を発表することができます。地方ステージにて選出された方はブロック代表者として、全国ステージに出場できます。

今しか出来ない経験



ドキドキ、ワクワクの発表!





## 高等学校教職員の皆さんへ

### なぜ、青少年教育施設で探究なのか？

当機構では、高等学校における学習指導要領の重要なポイントである「探究」にスポットを当て、高校生が「探究」を学び、新たな社会の担い手として自身の可能性を伸ばすことを支援するため、『全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」』（愛称：ちいぶろ！）を実施しています。当機構では、従来から「体験活動」を通じて自ら主体的に取り組む青少年の育成を行い、様々な体験活動プログラムを展開しています。これまで当機構が培ってきた体験活動のノウハウや各施設の環境を活かし、体験から学ぶ「総合的な探究の時間」を支援します。

### 高等学校の「総合的な探究の時間」をサポート

「ちいぶろ！」では、高等学校の「総合的な探究の時間」に位置づけができるよう1単位時間を50分にするなどの工夫をしたカリキュラムを設定しています。このカリキュラムでは「探究のプロセス」を体験から学ぶことができるよう、フィールドワークを設けております。さらに、カリキュラムの実施にあたっては、施設が地域との橋渡し役となり、地域と連携しながら特色ある授業を展開できるようにしてあります。

### 高校生の「学び」がカタチになる

高校生は、最終的に自身の活動の成果や学びを「実践活動報告書」としてまとめます。作成にあたっては、報告書の提出サイトを構築しており、煩わしい作業等は必要なく、Web上で設問に答えるだけで、学びが整理され、様式の整った報告書が出力されます。この報告書は、高校生自身の「学び」がカタチになったものであり、学校での評価にも活用できる他、高校生自身が、AO入試等、自らをPRすることが必要な場で積極的に活用してもらえればと考えています。

### 「学びの評価」や「発表の場」が高校生のモチベーションを高める

提出された実践活動報告書をもとに、高校生に対する一定の評価として「修了認定」を行います。また、さらなる発表・交流の場として「地方ステージ」及び「全国ステージ」を開催しています。優秀な発表には各賞の授与もあります。評価を行う有識者が助言や講評を行い、高校生が学びを深め、次の一步を踏み出すための機会となります。

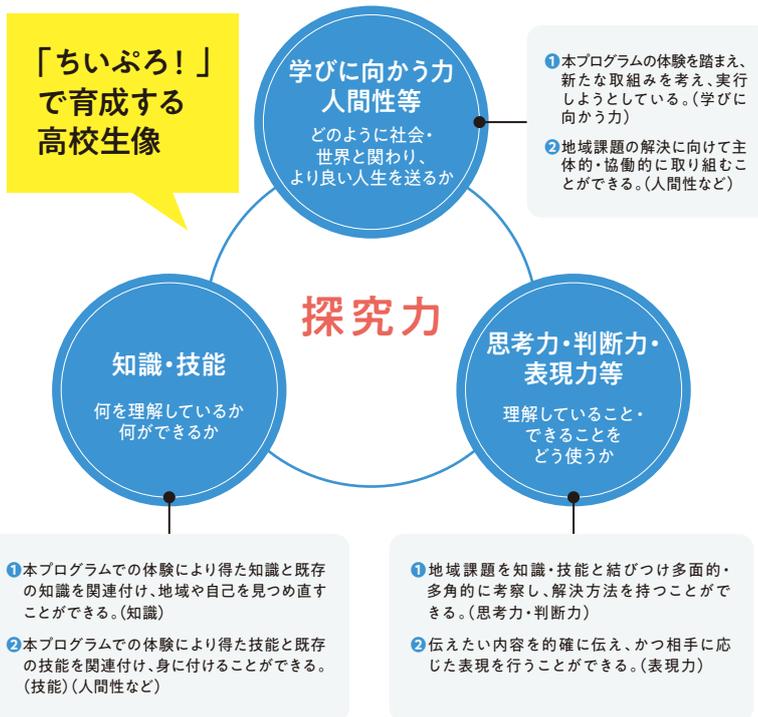
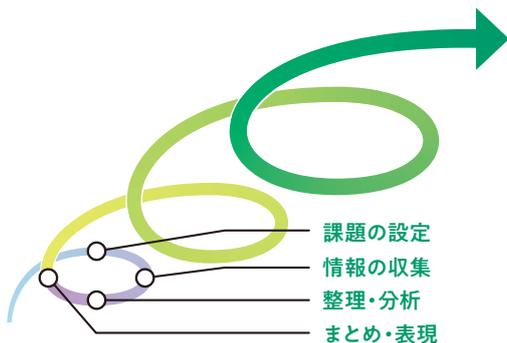
### ここでの学びが将来の糧となる

「探究」は、様々な情報や価値観に溢れ、正解がない現代社会において、自分自身の「やりたい!」「知りたい!」という意欲を明確にし、それをカタチにする力です。先の見通しにくい社会において、自身の意欲を活かした仕事や社会参画ができることはお金を稼ぐことと同じくらい重要であり、「幸福」な人生につながることでしょう。「探究」の学びは、これから生きる若者の人生を豊かにするためのツールとなるのです。



# 「総合的な探究の時間」の学びをサポート

本制度では、平成30年度告示の学習指導要領で示された「資質・能力の三つの柱」を軸に「地域探究プログラムで育成する高校生像」を整理し、これに基づいたカリキュラムを作成しています。カリキュラムを通じて「探究のプロセス」を学び、①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現の4つのプロセスを体験できるように構成されています。また、カリキュラム1コマの時間も授業時間にあわせて50分とするなど、授業へ位置づけやすいよう工夫をしています。カリキュラムの実施にあたっては、講師となる地域活動の実践者の紹介や連絡調整、施設職員による先生方の指導補助など、先生方の授業をサポートします。



## 「探究のプロセス」を踏まえたカリキュラム構成

各高等学校の教育課程・指導方針などに柔軟に対応できるよう2つのカリキュラムを用意

カリキュラムA				
分野	No.	項目名	目安のコマ数	探究のプロセス
導入	1	ガイダンス	1	
	2	講話等 「地域づくりの実践」	1~2	
	3	フィールドワーク① 「地域の魅力を発見」	3~6	
	4	講義・演習① 「地域理解」	2~4	
の探究の実践のプロセス	5	講義・演習② 「課題解決の基礎」	2~4	課題の設定
	6	フィールドワーク② 「地域課題の探究」	2~6	情報の収集
	7	講義・演習③ 「地域課題の探究」	3~5	整理・分析、まとめ
	8	発表①	1~2	表現
取組地域課題の	9	講義・演習④ 「行動計画の基礎」	2~5	課題の設定
	10	発表②	1~2	
	11	実践活動のためのガイダンス	1	
合計11科目 19~38時間 ※1コマを1授業単位時間(50分)に設定				

カリキュラムB				
分野	No.	項目名	目安のコマ数	探究のプロセス
試行	1	ガイダンス	1	
	2	ワークショップ・講話等 「地域づくりの理解と課題設定の基礎」	1~3	
	3	講義・演習① 「地域づくりと探究」	2~3	(課題の設定、情報の収集) 整理・分析、まとめ・表現
	4	発表①	1~2	(まとめ・表現)
実行	5	講義・演習② 「地域課題の探究」	任意	課題の設定、情報の収集 整理・分析、まとめ・表現 課題の設定
	6	発表②	任意	まとめ・表現
	7	実践活動のためのガイダンス	1	
合計7科目 任意				

・「探究学習」について、体験活動を通じて一から学べるカリキュラム  
・探究学習の実施方法を模索している学校におススメ!

・最低限のカリキュラム実施と学校での探究学習の組合せにより修了が可能  
・すでに地域をテーマとした探究学習を実施している学校におススメ!

# スケジュールとサポート



過去の実践活動  
報告はこちら▶



## スケジュールの目安



「ちいぶろ!」の  
参加・授業での  
活用に関する相談

### サポート①

学校の授業スケジュールや  
要望に応じた相談が可能

計画立案の段階から相談を受け付けることが可能です。オリエンテーション合宿の計画や施設利用に関する相談、講師・指導員の紹介など、各種体験活動の提供等のノウハウを活かした支援を行います。

地域探究トライアル

オリエンテーション  
合宿

### サポート②

主体的・対話的で深い学びの提供

「総合的な探究の時間」に合わせたカリキュラムを実施するとともに、主体的・対話的で深い学びにつながるよう、体験活動の手法を取り入れたサポート（高校生に対する指導・活動に関する資料・教材の提供 など）を行います。

カリキュラム  
修了



実践活動

### サポート③

支援者への助言

各学校（団体）での実践活動にあたり、必要に応じて先生方等の支援者に対する助言を行います。

報告書  
作成提出

### サポート④

Webによる報告書作成支援

報告書は、Web上での文章入力や写真の投稿により自動的に構成されます。完成した報告書は高校生自身が自由に出力することが可能で、自分自身をPRする材料として使用することも可能です。

地域探究アワード

地方ステージ  
地方ステージへの出場に  
あたっては、  
書面審査があります。

### サポート⑤

未来へ向けたアドバイス

教育関係者により構成された評価委員会では、審査のみならず、質疑応答や講評を通じて、参加者のさらなる成長や新たな気づきにつながるアドバイス等を行います。

代表に  
選出

### サポート⑥

一部旅費等の支給

遠方からの出場者の負担を軽減するため、旅費の一部を当機構が負担します。（詳細はお問合せください。）

全国ステージ

オリエンテーション合宿後の  
活動は任意です。

（例1）学校としては実施しない（生徒個人の自由活動とする）  
（例2）全員が取り組むが、課外活動とする  
（例3）授業に位置付けて活動を行う

ワクワクドキドキ

# 国立青少年の家に行こう!

各施設のお問い合わせはこちら



**世界有数の透明度を誇る**  
瀨島敷島  
14 国立沖繩青少年交流の家  
沖縄県渡嘉敷村

**溢れるグリーンシャワー** 三瓶山  
10 国立三瓶青少年交流の家  
鳥根県大田市

**世界農業遺産 能登の里山里海**  
06 国立能登青少年交流の家  
石川県羽咋市

**水質調査日本一 沙流川**  
15 国立日高青少年自然の家  
北海道日高町

**十勝岳ジオパーク**  
02 国立大雪青少年交流の家  
北海道美瑛町

**景下最大級の天体望遠鏡**  
24 国立山口徳地青少年自然の家  
山口県山口市

**良質な天然雪120%**  
19 国立妙高青少年自然の家  
新潟県妙高市

**伝統的な家屋 曲がり家**  
03 国立岩手山青少年交流の家  
岩手県滝沢市

**目の前に広がる若狭湾**  
21 国立若狭湾青少年自然の家  
福井県小浜市

**水質調査日本一 沙流川**  
15 国立日高青少年自然の家  
北海道日高町

**透明度抜群! みちのくの溪流 砥沢**  
16 国立花山青少年自然の家  
宮城県栗原市

**北アルプス立山三山**  
20 国立立山青少年自然の家  
富山県立山町

**万葉集に詠まれた磐梯山**  
04 国立磐梯青少年交流の家  
福島県猪苗代町

**満点の星座観察 スタードーム**  
26 国立夜須高原青少年自然の家  
福岡県筑前町

**湖岸で楽しむ キャンプファイヤー**  
23 国立吉備青少年自然の家  
岡山県吉備中央町

**上毛三山の赤城山**  
05 国立赤城青少年交流の家  
群馬県前橋市

**多島美の瀬戸内海**  
11 国立江田島青少年交流の家  
広島県江田島市

**標高1,510mでの高地トレーニング**  
07 国立乗鞍青少年交流の家  
岐阜県高山市

**ススキの名所 曾爾高原**  
22 国立曾爾青少年自然の家  
奈良県曾爾村

**日本三大潮流 鳴門の渦潮**  
09 国立淡路青少年交流の家  
兵庫県南あわじ市

**木のぬくもりを感じるログハウス**  
18 国立信州高遠青少年自然の家  
長野県伊那市

**雨の日でも安心! 室内キャンプファイヤー**  
17 国立那須甲子青少年自然の家  
福島県西郷村

**そびえ立つ 室内クライミングウォール**  
28 国立大隅青少年自然の家  
鹿児島県鹿屋市

**千年の大草原 阿蘇**  
13 国立阿蘇青少年交流の家  
熊本県阿蘇市

**日本三大潮流 鳴門の渦潮**  
09 国立淡路青少年交流の家  
兵庫県南あわじ市

**木のぬくもりを感じるログハウス**  
18 国立信州高遠青少年自然の家  
長野県伊那市

**雨の日でも安心! 室内キャンプファイヤー**  
17 国立那須甲子青少年自然の家  
福島県西郷村

**360°大パノラマ 五家原岳**  
27 国立諫早青少年自然の家  
長崎県諫早市

**愛媛県一の大河川 肱川**  
12 国立大洲青少年交流の家  
愛媛県大洲市

**ミニクルージング船 くるしお**  
25 国立室戸青少年自然の家  
高知県室戸市

**世界遺産 富士山の麓**  
08 国立中央青少年交流の家  
静岡県御殿場市

**国内最大級の青少年教育施設**  
01 国立オリンピック記念青少年総合センター  
東京都渋谷区

Manga Designers Lab.

国立オリンピック記念青少年総合センター:1か所  
 国立青少年交流の家:13か所  
 国立青少年自然の家:14か所

## 愛称

【考案した高校生の想い】

「地域探究」+「プログラム」=「地域探究プログラム」だと感じたのでふたつの最初の2文字をとり、言葉イメージしやすくしてみました。ひらがなにすることで親しみやすくなっていると思います。「!」をつけることでこの活動の楽しさやおもしろさを出してみました。



## シンボルマーク

本プログラムで活動する地域を示すピンと、プログラムを通して成長し徐々に上昇していく気球をイメージしている。



## マスコットキャラクター

高校生をモチーフに、手には実践活動に必要なマイクとペンを握っています。いたるところにシンボルマークが隠れているので探してみてください。



## お問い合わせ先

全国高校生体験活動顕彰制度委員会事務局  
 独立行政法人国立青少年教育振興機構 教育事業部 事業企画課  
 TEL : 03-6407-7686 FAX : 03-6407-7699 MAIL : kikou-tankyu@niye.go.jp  
 住所 : 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号(国立オリンピック記念青少年総合センター内)